佐藤雲韶編纂
福岡欽崇揮毫

高等科習字帖

四年生
後期

第八

K120.71
22.1
8

K120.71
22.1
8

佐藤雲韶編纂

高等科習字帖

福岡欽崇揮毫　文海堂藏梓

日用書類

此程中も種々世話を蒙り難有
存じ申候用向も定めし大抵落着
致し候事来集の時節御報ぜん申

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出遊ひ奉りて小生の出狀委細は
話し申度旨道中所存申
書入れ差上ぐ

過日は伏敷乃小倉同合之愛和同
所小宮相高之次男之性質実拙
共ものゝ為に誘引小生の家様之

[illegible]大概は同[illegible]会社[illegible]本
人[illegible]出[illegible]試に使用[illegible]
[illegible]中[illegible][illegible]仕[illegible]
小生[illegible]諸制[illegible]ハ僅り[illegible]
用中は[illegible]
[illegible]は[illegible]計[illegible]

[illegible]
日々[illegible]用[illegible]理科講本[illegible]
教[illegible]者[illegible]以[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

猶の仕置方の儀に付て之を合印金
新造方取扱の儀は差支無之
尚書に依て新規様式清様事

聖人孔子の教を以て人倫の道を
第一学校入学試業及第仕合付
為人の教を以て新規式科

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

拙者ニ而只今迄所持致來候
隨而男御分家ニ付田畑可買入申來
度右　御領何村字某ニ有之拙者所望

其田所ハ御存の沃地ニ有之候處見込ニ御
兼候其上ニ而御譲下申上度旨相願
候而一寸御咄申上候　私の多年工夫を傳

水流器械漸々成功に付種々貴物等を
以て付手廣く販売致候ゆえ元来
商法不慣に付出来店元出来物等の
品物精々入念廣優を以て之の市
場に出し取出信用を
蒙り出来物の品性店元販売方法

依託ニ付相承方ハ当所勝手ニ付
以新掘ニて代價ニ仕屋ニ付宜敷
当用向ハ可申ベク候特ニ書物差加ヘ
取斗可申尚り数十個以来通来候
帝城ニ報地見ハ手元ニ世ニ回業回
答ニ変見尚り所品ニて八百

入合ひ中間家賃ハ一廻入出候中ニ

家屋表借用証書

一木造二階屋　壱棟

内地所坪数坪建家坪数

右拙者借用ニ付中堂宮や家賃ニ

候い壱ヶ月金何圓何銭ニ約束ニ

毎月末日ニ金右通ニ納ニ中又出入用

高四ノ下十一

こゝろをもて幾日なりとも相違なく必ず返済の中に依る証書如件

年月日　　借主　姓名印

預り金証券

一金何百圓也　但利子壱ヶ月何程

右金額正に預り置申候法入用ゝ

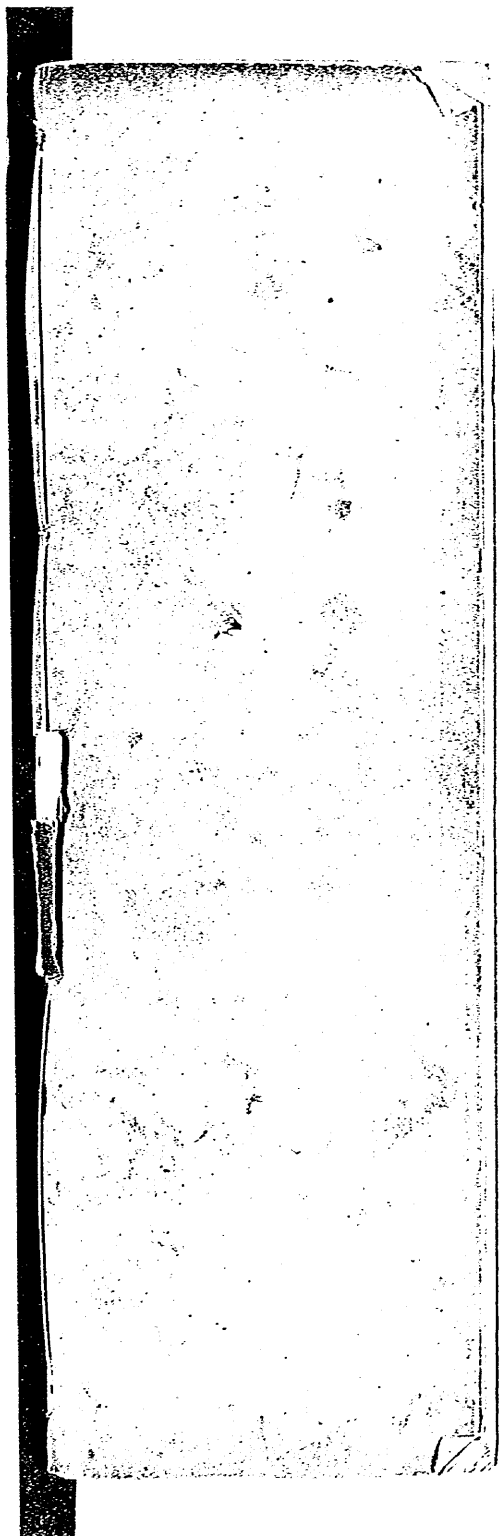
K120.871
69

第八何時ニテも此証書ニ引替ヘ申
候ニ付ては此証書如件

年月日

郡村番戸
何之誰印

福岡教育書籍

明治廿一年十二月三日印刷
明治廿一年十二月四日出版

東京府麹町區富士見町二丁目廿五番地
著作者 佐藤雲韶
愛知縣名古屋區葛町百五拾三番戸
書者 福岡欽崇
愛知縣名古屋區本町四丁目七番地
發行兼印刷者 矢田藤兵衛